

総合計画前期基本計画 委員質問への回答

NO	柱	施策目標名	質問者	質問内容等	回答内容	参考資料	回答課
1	1	① 子どもと子育て家庭をやさしく支える	ZTV 大西伸正	ひとり親や仕事盛りの世帯にファミリーサポートは有用で市民交流にも一役買っており利用者数増も評価できる。 利用件数増とともに、利用したいときに利用できない等の問題が発生していないか？サポート側の人員推移はどのようなものか？ また、人員増に対する現状や取り組みは実施されているか？	・ファミリーサポートセンター事業については、委託先の事業者と密に連携し、利用申し込みを断る等の問題がないよう、利用しやすい環境づくりに日々努めています。 ・提供会員は下記のとおり、年度ごとに増えています。 令和3年度：104人・令和4年度：107人・令和5年度：116人 ・提供会員確保に向けた広報活動等による組織体制の強化を図るとともに、養成講座を開催することで、利用者及び提供会員とともに、子育てに関する知識を取得できる場を提供しています。		健康福祉課（子育て）
2	1	② 子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育を進める	公募委員 濱口和美	②ガイド活動の実施小学校が目標値7校に対し、現状2校から増えないのはなぜですか？	この目標を設定した理由は、その校区（地域）の良さやふるさとを想う気持ちを育むことと子どもの表現活動を育むことをねらいとしています。 菅島小学校が早くから取り組み、神島小学校もこの取り組みを通じて、郷土愛と表現活動を育んでいます。 他の校区では、加茂小では農業を中心に、答志小では海の環境と地域を中心に、安楽島小では安楽島漁協と協力して安楽島や鏡浦地区の海の環境を中心に、弘道小では地域の海の藻場再生を中心に、鳥羽小では、学年に応じて防災、街づくり、海の環境を中心に、どの学校でも地域の人との出会いを大切にして実践されています。地域の人と出会いを通じて、地域の良さや地域への想いを学び、子どもが地域に関心を持つようになり、地域のことを発信する力へとつなげています。子どもが発信する場として、菅島小や神島小のようにガイド活動を通じて、行う学校もありますが、地域の広い学校では、市外県外、海外の学校に自分の地域紹介をする場面をつくったり、地域の人に自分たちの学びや思いを発表したり、お店などで商品の販売や試食会をしたり、学校の学習発表会に地域の人や保護者を招いて発表したり、しています。昨年まで、5年生の学年では、オンラインで自校の総合学習について交流しました。 このようにガイド活動を見本にして、それぞれの地域の特色を生かした鳥羽ならではの学習を各校で行っています。		学校教育課

NO	柱	施策目標名	質問者	質問内容等	回答内容	参考資料	回答課
3	1	③しっかり学ぶ子どもたちを育てる	公募委員 濱口和美	①全国学力学習状況調査の正答率ポイントが上がらない要因についてわかる範囲で教えてください。	<p>この学調の結果が、子どもがつけるべき学力の一部と考えています。正答率だけで見てしまうと、問題の難易度や児童生徒が違うので一概に図ることは難しいと考えます。</p> <p>小6時点の全国との差と中3の差では数値の開きが少なくなっています。正答率という点では低いかもしれません、子どもが学力をついていないというわけではありません。</p> <p>別紙1のとおり、目標とする全国平均+3ポイントにはなかなか厳しいのが現状です。その取組として、先生たちに学力を意識してもらうためにR3から4年生以上で情報交換会を実施し、小学校では同じ学年で、中学校では同じ教科で話し合う機会を年6回持ち、各校の学力向上に向けての取組や実践について情報共有する時間を持つっています。</p>	別紙1	学校教育課
4	1	⑤生涯学習やスポーツを進める	ZTV 大西伸正	生涯学習講座は何故終了したのでしょうか？集落の公民館等への出張講座等で足がない方も参加できるように配慮はされたのでしょうか？	<p>市が実施していた生涯学習講座は中央公民館において開講していましたが、市体育館が整備されたときに、スポーツと文化を融合させてやっていくということで、指定管理者へ事業を移管し現在は市体育館で生涯学習講座を行っております。</p> <p>指定管理者が実施することで、土日や夜間も開講され、内容も充実したものとなっております。地区分館においては、以前より公民館事業はしておらず、貸館業務や町内会での憩いの場として活用されています。</p>		生涯学習課
5	1	⑥鳥羽ファンの憩いとつながりづくり	皇學館 板井正斎	⑥の③で、指標の見直しが必要なのは移住者支援による転入者数でしょうか？であれば、令和3年度以降の数値根拠を教えてください。 ・ファンクラブ会員数の根拠はFBの登録数でしょうか。 ・増加傾向を評価しますが、目標値へ向けては対象別の発信媒体を立ち上げるなど具体的な方針があれば教えてください。また、転出超過数のトレンドも説明があると理解を深められます。	<ul style="list-style-type: none"> ・数値根拠としましては、市の移住支援策（空き家バンク、移住相談窓口、移住体験住宅、移住奨励金）を利用して転入された方をカウントしています。 ・ファンクラブ会員数は、FBグループ「とばり隊」の登録者になります。 ・現状としてFB利用者の減少やアクティビューザーの年齢が高いことから増加を求めるのは厳しいと感じています。そこで、派生グループ「とばり隊釣り部」「とばり隊ボランティア部」などの立ち上げを検討しています。 ・転出超過のトレンドですが、高校を卒業し進学・就職する際の数が圧倒的に多くなっています。 		企画財政課

NO	柱	施策目標名	質問者	質問内容等	回答内容	参考資料	回答課
6	1	⑥鳥羽ファンの憩いとつながりづくり	伊勢公共職業安定所横田由美	(要望) UIJターンの希望者に対する支援について、就労面でハローワークもコラボしたいと思います。 (質問) 市民アンケート結果で「重要度」が3年間最下位ですが、市民の方はUIJターンについてあまり興味がないのでしょうか。	・観光商工課にいただいている求人情報は移住相談の際に活用させていただいている。その他、支援情報などの共有をさせていただければ非常に助かります。 ・まずは、住みやすい・住み続けたいまち。という魅力があるまちになることが第一で、そこが整備できればUIJターンも増加するはずであるため、順序的に低くなる傾向があると思われます。		企画財政課
7	1	⑥鳥羽ファンの憩いとつながりづくり	伊勢志摩労福協議会角谷嘉彦	子育て世代とその子ども世代の転出超過数の転出者数と転入者数を教えていただきたい。 また、令和4年度は転入者が212人上回ったのは何が要因ですか。	(抽出方法に誤りがあり数字の訂正をさせていただきます。) 正しい数は「28人」となります。内訳は、子育て世代及び子ども世代の転入者数が192人、転出者数が220人となり転出超過数は28人です。 令和3年度及び令和5年度と比較して超過数が少ない要因としては、転入者数には大差ありませんが、転出者数が少なかったことによるものです。		市民課
8	1	⑥鳥羽ファンの憩いとつながりづくり	公募委員今井緑	鳥羽ファンクラブの活動をよく理解していないので、「どうでしょうか。」と質問したうえで活動の様子が見えてこないのですが?いかがでしょうか。	鳥羽ファン(関係人口)と住民とをつなぐオンラインコミュニティとしてFBグループ「とばり隊」を運営しています。 鳥羽あるあるや好きなところを発信したり、イベント情報の共有を図ることを目的にしています。 現状、市のイベント情報の共有などを中心に更新しています。		企画財政課
9	2	⑦海洋文化を守り、活かす	皇學館 板井正斎	⑦の①および③の成果指標について、情報発信は費用対効果の大きな施策と思われますので、数値が計上されない理由と、代替可能な指標をお示しください。 ⑦の④で評価を得ている計画の進捗管理結果と本施策の進捗評価はどの程度一致しているでしょうか?	・新たなデータは分類等を行い「鳥羽デジタルアーカイブス」のサイトにアップして完成となります。その作業ができていないため「-」としています。(50件程度の新たなデータ有) また、ご指摘いただいたように代替可能な指標については、中期基本計画策定時までに検討したいと思います。 ・観光基本計画後期アクションプログラムのKPIで延べ宿泊者数を197万人と目標設定しており、進捗評価については各年の評価は同じです。		観光商工課

NO	柱	施策目標名	質問者	質問内容等	回答内容	参考資料	回答課
10	2	⑧まちの美しさと機能を保つ	皇學館 板井正斎	今後の方針にある観光DXの促進へ向けて、現状の情報発信媒体やアプリの運用状況について、教えてください。	伊勢志摩観光コンベンション機構にて伊勢志摩MaaSを構築し、近鉄等の公共交通と連携をして事業を展開しています。		観光商工課
11	2	⑧まちの美しさと機能を保つ	ZTV 大西伸正	①情報発信に有名なインフルエンサーを起用してみてはどうでしょうか? ②菅島の採石跡の緑化計画等はあるのでしょうか？海沿いのホテルからの景観を大きく損なってしまっており観光客に与える印象が心配です。	①情報発信に関しては鳥羽市広告宣伝戦略委員会がインフルエンサーやノマドワーカーを使った情報発信を実施しています。 ②菅島の採石跡は、法令や協定に基づき採石業者が緑化計画を定めていますが、計画どおりの進捗はみられません。景観保全を含め採石跡の防災対策は大きな課題であり、採石の認可権者である県に採石業者への指導強化を求め、進捗を促しています。		①観光商工課 ②総務課
12	2	⑨地域資源を活かした経済循環	皇學館 板井正斎	今後の方針にある観光DXの促進へ向けて、現状の情報発信媒体やアプリの運用状況について、教えてください。 多くの項目で目標値の到達可能性があることは評価できます。ガイド・語り部については目標値を上回る状況です。⑨の③も、トップブランドの価値を高めながら、黒ノリやアジなど次候補も生まれています。成果指標のモデルの定義を拡大解釈するのも一案でしょうか。 今後の展開方針は計画に基づきながら特筆すべき内容を具体的に教えてください。	情報発信の媒体は主にSNS (Instagram、Facebook、X) を活用しています。 鳥羽磯部漁協を中心に答志島トロさわらのブランド価値向上のほか、未利用魚（アイゴ等）を使った加工品の検討を行っています。		観光商工課
13	2	⑩水産業を守り育てつなぐ	皇學館 板井正斎	各施策は、おおよそ目標値を上回るか近づいています。特に、漁業者一人あたりの漁業収入が、目標値を上回ったことは高く評価されるように思います、到達見込みを「○」とされないのには懸念点を推察します。進捗評価の高さに対して、○とされない要因などを教えてください。	令和5年の漁業収入は目標値を上回りましたが、近年、海水温の上昇や栄養塩類の低下などの漁場環境の変化により、漁業生産の不安定さが増しています。これらの要因は漁業収入に直結しており、年ごとの変動も大きいため、評価を高くすることには慎重を期しました。		農林水産課

NO	柱	施策目標名	質問者	質問内容等	回答内容	参考資料	回答課
14	2	⑫商工業の明日を支える	皇學館 板井正斎	⑪の①の事業継続力強化計画策定事業所数の実績表記「一」は、「0」ということでしょうか？	BCPの策定について事業者の把握ができていません。		観光商工課
15	2	⑫商工業の明日を支える	ZTV 大西伸正	事業承継について、地域の伝統産業を守るために鳥羽市外からの承継会社や人材を受け入れて成功した事例はありますか？	地域おこし協力隊として海女後継者を受入れた事例はあります。		観光商工課
16	2	⑬とばびとの「働く」を支える	皇學館 板井正斎	⑭の②就業支援事業などに参加した中高生などのうち市内で就職した人数に対して、大学生の就職者数はどの程度で、その内訳（Uターンなど）を把握されていれば教えてください。	大学生の就職者数については把握しておりません。		観光商工課
17	2	⑬とばびとの「働く」を支える	伊勢公共職業安定所横田由美	(質問) 市民アンケート結果で「満足度」が3年間とも低いですが、市民の方が重要視されるニーズは何になりますか。 (要望) 満足度アップのために、ハローワークもより一層の連携を深めたいと思います。	地区懇談会では地元でUターンで就職先を探す際に求人情報等の情報発信を希望する声があり、当市無料職業紹介所の求人情報をSNSで発信するとともに、ハローワーク様の公式LINEを広報でお知らせして活用を促すといったことを実施しています。 また、市内事業所では慢性的に人手不足が課題となっていることから、長期就労に向けたセミナーの実施や職場見学のバスツアー等を実施しています。		観光商工課

NO	柱	施策目標名	質問者	質問内容等	回答内容	参考資料	回答課
18	2	⑬とばびとの「働く」を支える	伊勢志摩労福協議会角谷嘉彦	市民就労促進事業などに参加した中高生などのうち市外に就職し市内から通勤されている人数が分かれば教えていただきたい。	市外に就職し、通勤している人数は把握できておりません。		観光商工課
19	3	⑭環境負荷の少ない循環型社会の創出	皇學館 板井正斎	市民一人あたりのごみ処理費用について、人口減少傾向でも高止まりしている要因をどのように捉えいらっしゃるでしょうか。 課題指標の年間最高気温平均値が、現状値より下がっていはいますが、施策結果との因果関係を把握しづらく、施策がコントロールできる範囲を超えてるようにも感じます。	ごみを焼却するための燃料費等の費用については、「人口減少に伴うごみ排出量の減少」により減少しますが、施設の運用費用等の固定費が人口の減少により一人当たり負担が増加していると考えております。		環境課
20	3	⑮緑と海を次代に残す	皇學館 板井正斎	課題指標である「妙慶川の水質（BOD値）」と、「海ごみの回収処理量」の実績値の変動は、どのような要因によるのでしょうか。特に海ごみのR4以降の実績には相当のご努力があったものと推察します。	妙慶川の水質については、排水や雨水により数値が上下するため明確な要因は不明です。 海ごみの回収処理量については、台風等の影響で漂着ごみ量が増減することが要因と考えております。		環境課
21	3	⑯緑と海を次代に残す	鳥羽市自治会連合会勢力吉男	Google Earthを見ていると、いつの間にか鳥羽の山々にも太陽光パネル設置の多さに驚いています。最近は、全国的にも問題視されているように思います。行政の対応がどのようにになっているか知りたいです。	「鳥羽市における再生可能エネルギー発電事業と自然環境等の保全との調和に関する条例」により、再生可能エネルギー発電事業と生活環境の保全と調和を図るとともに人と自然が共生する豊かな地域社会の確保に寄与することを目的としております。再生可能エネルギー源を利用した大規模な発電設備の建設の前に事前相談を実施者より行ってもらっております。 しかし、「計画を中止させる」等の強制的に抑止する効力は有していないため、地域住民等に事業説明を行うことで問題発生を抑制しております。		環境課
22	3	⑰住環境・土地利用の健全化	皇學館 板井正斎	市営住宅入居率について、応募者と退去者の実数を教えてください。応募者が増えた点は施策効果と評価できます。	令和4年度の応募者は15世帯、退去者は29世帯、令和5年度の応募者は23世帯、退去者は17世帯、令和6年度の応募者は30世帯、退去者は21世帯です。 詳細につきましては、資料1のとおりです。	別紙2	建設課 (管理係)

NO	柱	施策目標名	質問者	質問内容等	回答内容	参考資料	回答課
23	3	⑯ 住環境・土地利用の健全化	伊勢志摩労福協議会角谷嘉彦	市営住宅においては、入居要件の緩和や浴槽設置により応募者が増えたものの、それを上回る退去者により、入居率が低下している状況とありますが、退去者が増えた理由と一時的なものなのかを教えていただければ有難い。	令和4年度の退去者は29世帯、令和5年度は23世帯、令和6年度は21世帯となっております。退去理由を分類すると資料1のとおりとなります。 退去理由の40%超が死亡や高齢が理由で市営住宅での生活が困難になったことによる施設入所や親族との同居となっています。	別紙2	建設課 (管理係)
24	3	⑰ 安全で快適な道路環境整備に努める	皇學館 板井正斎	通学路危険箇所対策率の推移は高く評価でき、課題指標である交通事故発生件数の減少へもつながっていると推測します。 道路補修率の実数を教えてください。	道路補修率について、令和5年度末で35.2%となっています。 (補修箇所数 140/要補修箇所数 398)		建設課 (建設係)
25	4	⑲ みんなで支え合うまちをつくる	皇學館 板井正斎	ボランティア登録者数は、既に目標値を達成しておりますが、活動実数はいかがでしょうか。 地域共生ケース会議は大きく目標値を超えていました。解決へつなげられた成果と見ますが、困難ケースが当初の見立てより多かったという理解でしょうか。またR5年度の減少要因を教えてください。	各団体の活動内容については、登録時に聞き取りをしていますが、日常活動の全てを把握していませんので、ボランティアセンターでの活動について説明いたします。まず、「ボランティアの発掘・養成」として、ボラティアスクールを3回（のべ参加者：252人）開催しました。また、児童・生徒を対象としたボランティア教育等として、21回（のべ参加者：1,143人）開催しました。 地域共生ケース会議については、個々で背景等は多様であり、アウトリーチも踏まえた対応が必要となっていることから、当初の見立てはし難いのが現状であり、適宜対応をしてきたというのが実情です。当該年度の新規対象ケースは4件であり、内2件は、初回開催件数が2月であったことから、会議の開催数が少なくなっているのが大きな要因です。		健康福祉課
26	4	⑲ みんなで支え合うまちをつくる	公募委員 濱口和美	地域共生ケース会議とはどのような会議が教えて下さい。 時間外に開催されるケースは行政職員は参加されますか？	重層的支援体制整備事業の「多機関協働事業」として、複合的な課題等を抱えるケースの課題の解きほぐしや適切な支援につなげることを目的に、関係機関が集まり支援の方向性を協議するための場所として設けています。 また、地域共生ケース会議については、健康福祉課内に配置する相談支援包括化推進員がコーディネート（会議の調整やファシリテーション等）することとしており、時間外に開催する場合にも当該推進員をはじめ、関係する行政職員も参加しています。		健康福祉課

NO	柱	施策目標名	質問者	質問内容等	回答内容	参考資料	回答課
27	4	②①障がい者の地域での主体的な生活を支える	皇學館 板井正斎	施策の展開と成果の①～③について、主要な取り組みと、成果・課題の読み取り方を教えてください。 ②の福祉施設入所者の地域生活以降者数は、一次評価で理由を理解しましたが、進捗評価は「○」で良いでしょうか。 課題指標の実績値は、身体・療育において増加していますが「○」で良いでしょうか。	○ ①の「主要な取り組み」は、鳥羽市社会福祉協議会に委託している日中一時支援事業「いたずらっこ」で、「成果・課題」は、令和3年から5年までの実支援対象者、開所日数、延べ利用者数、延べ送迎件数です。 ②の「主要な取り組み」は、鳥羽市社会福祉協議会に委託している相談支援事業「キ・ラ・ラ」と特定非営利活動法人アイパートナーに委託している視覚障害者生活訓練事業で、「成果・課題」は、令和3年から5年までの相談事業実利用者数と支援件数、訓練事業の相談業務と訓練業務の時間数です。 ③の「主要な取り組み」は、鳥羽市社会福祉協議会に委託している成年後見サポートセンター事業「ぬくもり」で、「成果・課題」は、令和3年から5年までの実支援対象者数、相談件数です。 ○ ②の「地域生活移行者数」は、障害者総合支援法の基本理念である「身近な場所において必要な支援を受けて社会参加の機会が確保される」ことや「どこで誰と生活するか選択が確保される」ことですが、全ての障がい者の方は一生懸命生き、また家族がしっかり支えてあげ、さらに、親戚でも全力で支えながら、なおかつ地域全体で支えていますので、このように評価しました。 ○ この調査は、3年に一度、障害福祉計画を更新する際に行うアンケートによるものですが、設問が期間を区切らずに「差別や嫌な思いをする（した）ことがあるか」になっているため、過去に「差別や嫌な思いをする（した）」場合、減ることがないにもかかわらず、「ない」と回答された割合の減った区分があったため、「ない」と回答された人数がほぼ変わらなかったことから、このように評価しました。		健康福祉課
28	4	②災害や犯罪に強いまちをつくる	皇學館 板井正斎	市民意識調査の重要度と満足度が一致しており、施策の着実な進展が反映されています。避難所運営マニュアル作成も希望町内会が増えていることを評価できます。 町内会・自治会において避難訓練を実施している数はどの程度でしょうか。把握していれば教えてください。	毎年、市防災訓練として、一齊津波避難訓練を実施しています。令和6年度は、46のすべての町内会・自治会が参加しています。 一齊津波避難訓練参加者数 令和6年度実績 2,320人 令和5年度実績 2,205人 令和4年度実績 1,633人		総務課

NO	柱	施策目標名	質問者	質問内容等	回答内容	参考資料	回答課
29	4	⑬ 消防・救急体制を充実する	皇學館 板井正斎	人口減少が進む中で、消防団員数の定数を下回っているとはいっても、現状値をほぼ維持できている点は高く評価できます。処遇改善以外に効果があったのでしょうか。	令和4年4月より、消防職団員OBを対象とした災害支援団員制度を開始しています。大規模災害時や昼間の火災など、基本団員のみでは人手不足が生じるような場合に出動し、活動の支援をおこないます。制度開始後多数のOB職団員が災害支援団員に登録（入団）しています。		消防本部
30	4	⑭ 地域に合った移動手段を考える	ZTV 大西伸正	日用品・食品の移動販売は素晴らしいです。離島のオンライン診療は他の3島にも展開される計画なのでしょうか？	オンライン診療自体は4島の診療所全てに導入済みであり、離れた場所にいる医師と結び、遠隔で診察を行うことが可能ですが。ただ、⑭の移動施策と関連があるのは居住地区と診療所間で距離がある答志島のみとなります。（他の島では住まいと診療所がそれほど離れていません。）		健康福祉課
31	4	⑮ 健康で安心できる暮らしを支える	皇學館 板井正斎	離島や中心部より遠方の地域への積極的な技術導入や支援は高く評価できます。その一方で市民意識調査の重要度が必ずしも高くないのは、どのような要因が考えられるのでしょうか。	市民意識調査における重要度は回答者の状況（年齢や健康状態等）によって、市の各種施策に対する関心度（重要度）も大きく変動すると推測しております。健康は個人の暮らし方にかかる要素が大きいと捉え、行政による関わりをそれほど求めない方もいるように思われます。その他、鳥羽市民の中では健康分野よりもより関心度が高い施策があるためと結果だと推測されます。		健康福祉課（医療）
32	4	⑯ 質の高い市民サービスを提供する	皇學館 板井正斎	研修参加人数の大幅な増や、デジタル化への対応など施策努力を理解するものの、市民意識調査の重要度に対する満足度の向上がR4年度以降大きく開いています。直近の満足度の低下に対してはどのような要因が考えられるのでしょうか。	市民アンケートでは、別に「市職員への印象」という設問を設定しています。 (別紙参照) 「市職員への印象」としては、「不満・やや不満」と回答した割合は各年で大差ないものの、その理由を見ると「仕事のスピードや待ち時間」は徐々に改善している一方で「説明のわかりやすさ」や「親身な対応や気遣い」に不満を持たれる方の割合が年々増加している状況となっています。 基本的な接遇の部分に課題があるという結果ですが、今後さらにデジタル手続に移行した場合、わかりにいと感じる方がさらに増えることから、対象者に応じた丁寧な説明・対応が必要であると認識しています。	別紙3	企画財政課

全国学力学習状況調査の正答率

	H31	R2	R3	R4	R5	R6
小6 正答率 国語	63		55	66	64	60
県との差	-1	実施せず	-9	1	-3	-7
全国との差	-0.8		-9.7	0.4	-3.2	-7.7
小6 正答率 算数	64		61	58	58	53
県との差	-3		-8	-4	-4	-9
全国との差	-2.6		-9.2	-5.2	-4.5	-10.4

↓ ↓ ↓

	R4	R5	R6	R7	R8	R9
中3 正答率 国語	68	70	50			
県との差	0	1	-7			
全国との差	-1	0.2	-8.1			
中3 正答率 数学	50	53	46			
県との差	-2	2	-7			
全国との差	-1.4	2	-6.5			

1. 市営住宅の応募状況

	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	募集戸数	応募者	入居者	募集戸数	応募者	入居者	募集戸数	応募者	入居者
安楽島団地	1	15	1	6	23	6	5	30	5
安楽島第2団地	5		5	4		4	3		3
リバーサイド幸丘	4		4	6		5	7		5
計	10	15	10	16	23	15	15	30	13

2. 市営住宅における退去者の状況

退去理由	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般退去（引っ越し）	17	9	12
施設入所等※	9	3	6
入居者死亡	3	5	3
計	29	17	21

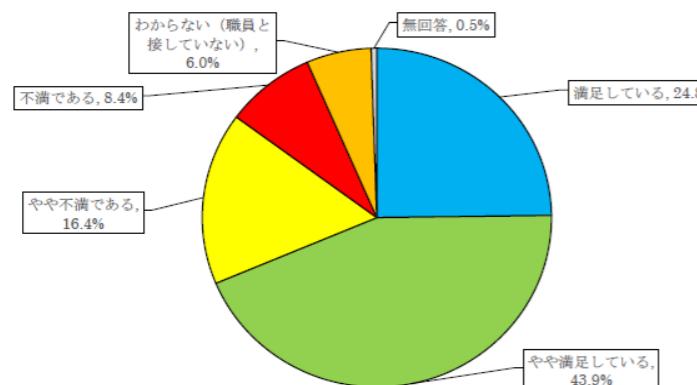
※高齢単身のため、親族（子）と同居を含みます。

市民アンケート結果（抜粋）

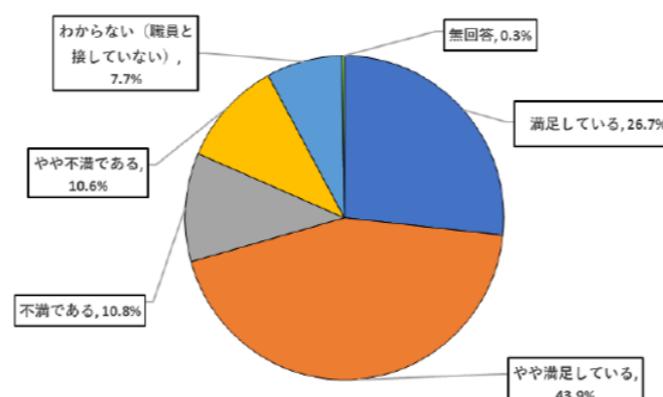
5. 市職員への印象

問5 あなたは、現在の市職員に対しどのような印象をお持ちですか。次の中から1つ選んでください。(来庁時、電話、市役所外の場面で職員と接した際の印象をお聞かせください)

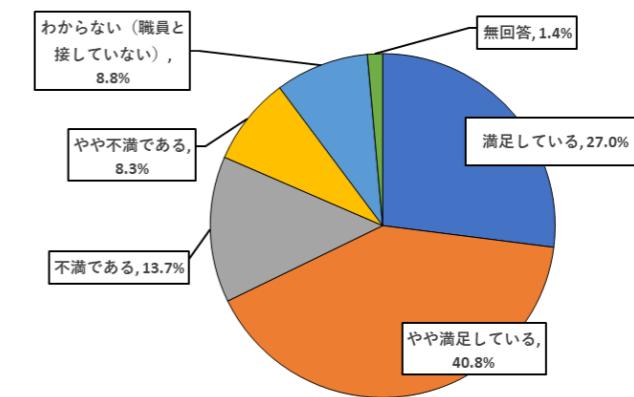
R3



R4

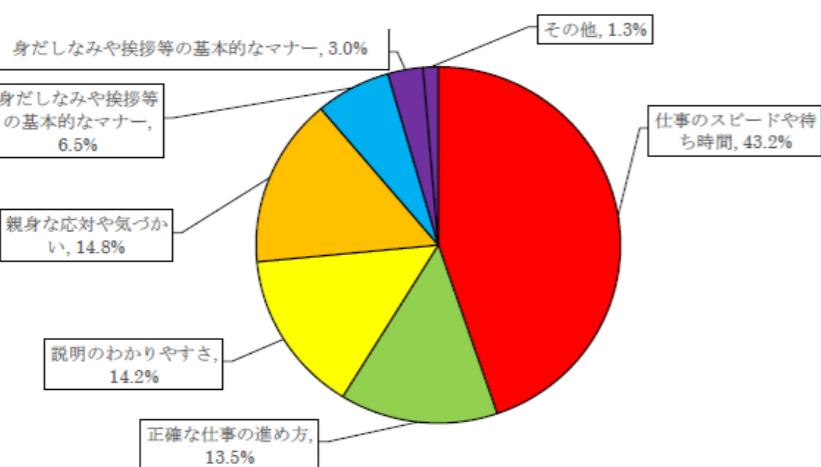


R5

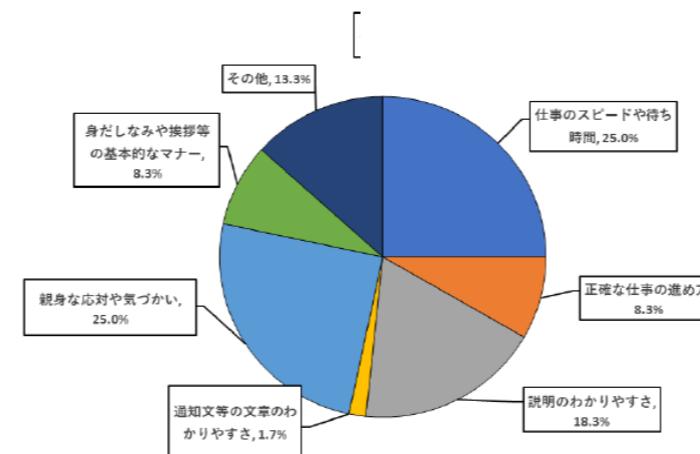


不満、やや不満と感じた理由

R 3



R 4



R5

